

畜産みやぎ

発行所

仙台市青葉区上杉一丁目2番16号

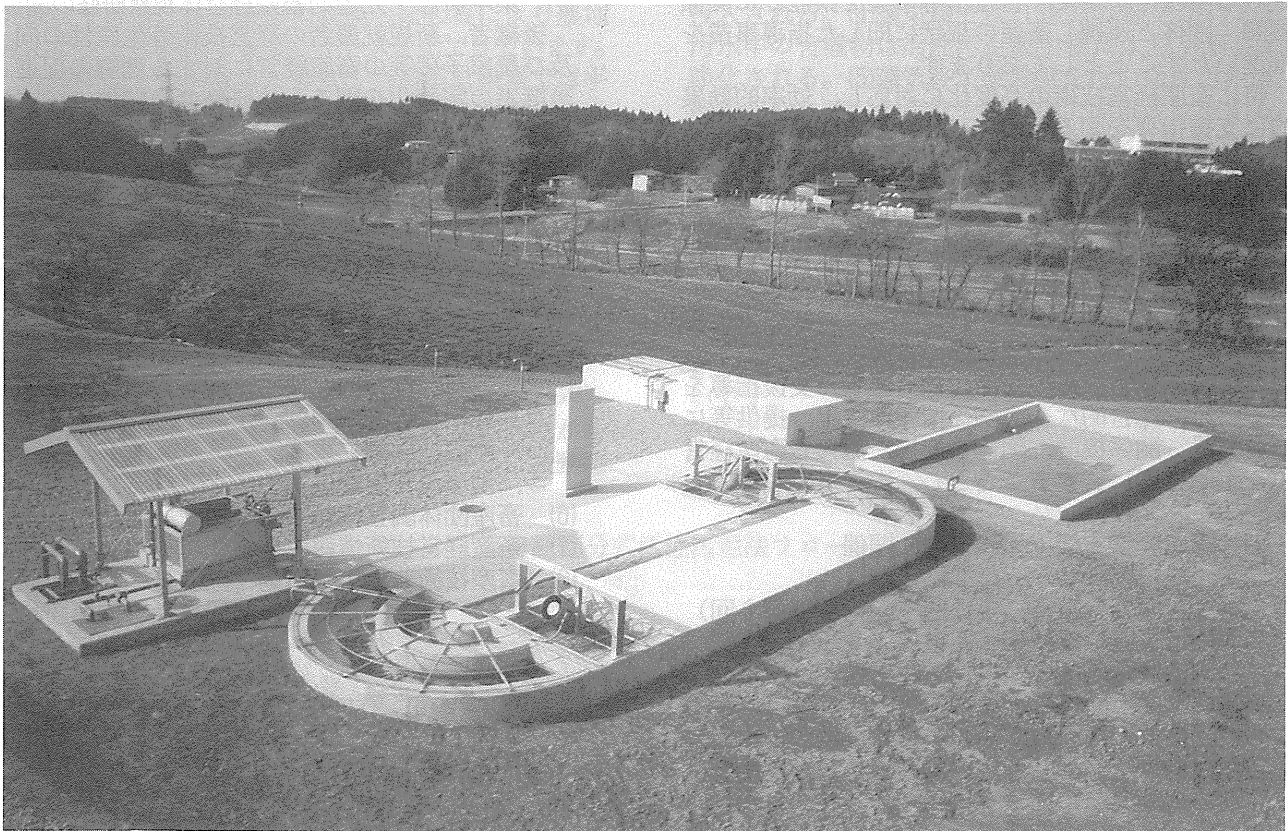
社団法人 宮城県畜産会

電話 (262-9180)

編集発行人 大堀 哲

定価 1部80円

印刷所 K K東北プリント



全自動回分式活性汚泥法畜舎污水处理施設 (宮城県畜産試験場)

も く じ

宮城県畜産会平成8年度事業計画の概要…… 2

全自動回分式活性汚泥法による
畜舎污水处理施設について…… 3

平成7年度家畜共済事業実績について…… 4

第7回全国和牛能力共進会開催について…… 6

全酪連問題と今後の対応について…… 7

平成8年度宮城県総合畜産共進会開催のお知らせ…… 8

実践大学校生OBの抱負…… 8

ミヤギノを利用した系統間交雑肉豚の
高品質豚肉生産に関する試験…… 9

嫌気性菌とは……10

抱 負……10

宮城県畜産会平成8年度事業計画の概要

(社)宮城県畜産会

平成8年度本会事業につきのしは、去る6月28日開催した第41回定時総会において承認されました。

本年度事業は、畜産をめぐる情勢の変化に対応し、生産技術者及びこれに係る指導体制の確立を急務とされる現状を踏まえ、各種指導事業を県並びに関係機関、団体と連携し畜産の現状に即した指導事業を推進いたすこととしております。

特に畜産経営技術の高度化に対応し、効率的効果的に支援指導を図るため、パソコン通信網を活用した総合的畜産関係情勢を提供するため、畜産経営情報データベース化事業を推進することとしておりますので関係各位の一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

1. 畜産経営技術高度化促進指導事業

畜産をめぐる情勢の変化に対応し、経営感覚に優れた生産性の高い畜産経営体の育成と指導者の養成並びに畜産経営技術の高度化に対応した支援指導を図るため、総合的な畜産関係情報の収集、提供等について県、関係機関、団体と連携、協力し畜産経営の安定的発展に資することとし、次の事業を実施します。

- (1) 畜産経営支援指導研究会の開催
 - イ. 総合委員会 年2回
 - ロ. 専門委員会 年6回(各畜種毎各2回)

(2) 地域畜産経営体相談窓口指導

日常的な経営体の状況把握、指導、地域における関係機関、団体との連携、協力、調整及び定期的巡回指導、診断指導等の業務を推進するため3名を県経済連大河原、古川、佐沼各畜産事業所に駐在し指導業務に従事する。

(3) 畜産経営技術支援指導

※診断指導実施件数

高度化指導				
個別診断指導	経営管理技術指導	生産技術指導	フォローアップ指導	集団活動推進指導
40	20	60	60	3

(4) 畜産経営情報データベース化事業

パソコン通信網を活用した総合的な畜産関係情報の提供を図るため検討委員会を開催し、ネットワーク化と各種情報のデータベースを構築し、畜産経営技術の高度化に対応した効率的、効果的な支援指導を図る。

産経営技術の高度化に対応した効率的、効果的な支援指導を図る。

- (5) 優良畜産経営技術の発表・交流会の開催。
- (6) 畜産経営セミナーの開催。
- (7) 集中研修・先進的畜産経営体視察研修の開催。

後継者、新規就農者の経営技術等生産性の向上及び農家子弟等の畜産経営に対する理解の促進と後継者の定着化を図るため研修会を開催。


2. 一般指導事業

- (1) 宮城県総合畜産共進会の開催。
- (2) 畜産経営安定化指導事業
 - 先進的畜産経営体調査 8事例
- (3) 肉用牛生産経営技術改善事業(調査頭数・繁殖牛4,000頭、肥育牛2,500頭)
- (4) 畜産経営簡易診断指導事業
- (5) 地域養豚振興特別対策事業
 - イ. 器具、器材簡易施設等の整備事業
 - ロ. 銘柄化促進事業。
 - ハ. 産直体制確立事業。
 - ニ. 地場消費促進事業。
- (6) 畜産団体調整機能強化事業
- (7) 畜産経営技術情報収集事業(モニター40名)
- (8) 畜産技術普及広報活動(畜産みやぎ年6回他)
(事務局次長 佐藤勝也)



飼い上手 育て上手は……
 動物薬品・獣医器具総代理店
株式会社 美濃谷

山形店 山形市蔵王成沢字町浦491-2 TEL.683121
 仙台店 仙台市太白区羽黒台31-14 16 TEL.2694306
 鶴岡店 鶴岡市大字布目字東通り57-1 TEL.240963

飼料は  **まるきた印**

採卵鶏用配合飼料 肉牛用配合飼料
 プロイラー配合飼料 乳牛用配合飼料

北日本飼料株式会社
 石巻市川口町3丁目2番8号
 TEL石巻 0225 (22) 6111
 FAX石巻 0225 (22) 6116

ビフィズス菌は
 ヨーグルト中の乳酸菌の働きは、どれも同じではありません。
活きたまま腸までとどきます。

ビヒダス
 ヨーグルト 500ml
 宮酪乳業株式会社 名取市野野原五丁目1番3号
 TEL (022) 384-5181

全自動回分式活性汚泥法による畜舎污水処理施設について

とろろ

宮城県畜産試験場

近年、畜産経営ではふん尿処理を中心とした環境対策が重要な課題となっています。ふんについては、堆肥化によりある程度処理は可能ですが、尿については、ほとんどが農地還元により処理されているのが現状であり、畜産経営の規模の拡大等により農地還元だけでは処理できないケースが出てきています。

この問題を解決するために、当畜産試験場では平成7年度に乳用牛50頭規模の回分式活性汚泥法による尿処理施設を建設しましたので紹介します。

回分式活性汚泥法とは、1日分の畜舎污水を好気性微生物を利用して1日で浄化処理する方法です。

当畜産試験場で設置した処理方式は神奈川県畜産試験場が開発したもので同県下の畜産農家を中心に200施設程度が設置されています。

この施設の処理システム(図-1)は、次のようになっています。

(1)牛舎でふんを分離した尿污水とミルクングパーラーからの排水は、スクリーンで大きな固形物が取り除かれた後投入ピットに貯留され、さらに振動篩

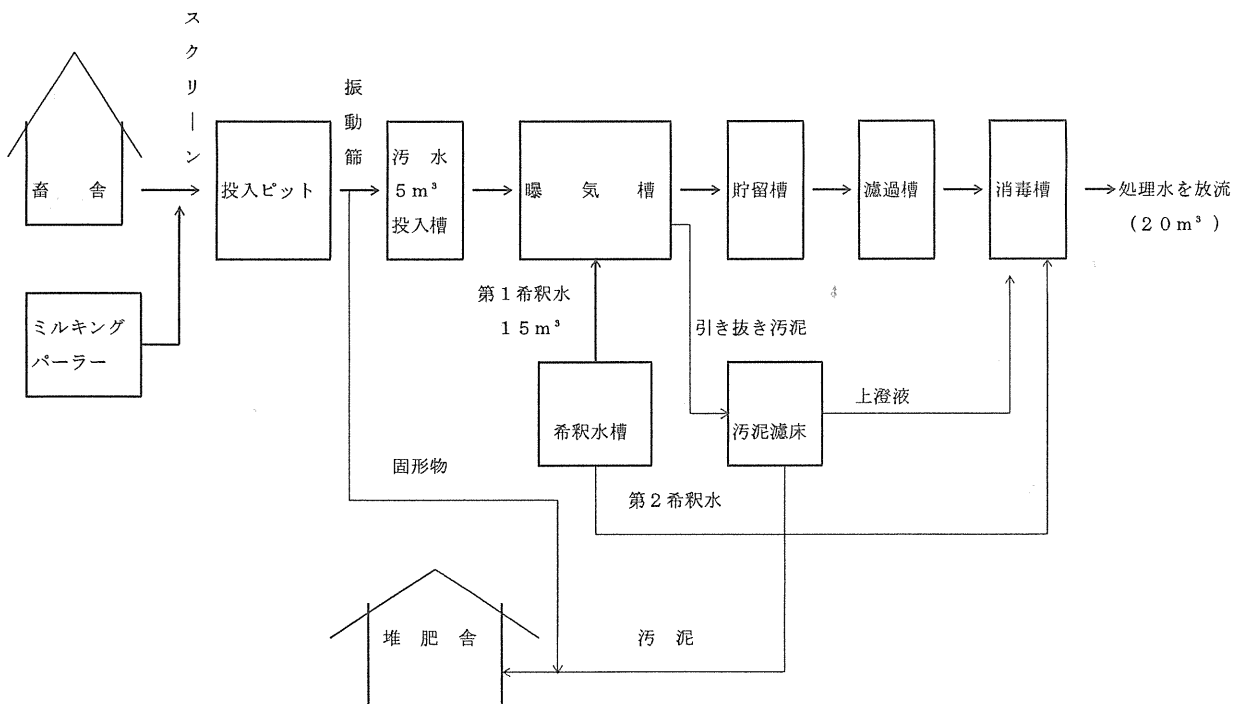
で固形物を除去されて投入槽に貯留される。(2)投入層に貯留された1日分の污水は、1日に1回污水ポンプに吸揚され曝気槽に投入される。(3)これと同時に希釈水槽から污水の約3倍量の希釈水が曝気槽に投入される。(4)曝気槽では21時間の曝気が行われ、汚水中の有機物は活性汚泥微生物により分解され、浄化される。(5)曝気終了後静置を行い活性汚泥微生物を沈殿させ、上澄液を消毒槽で消毒後放流する。

以上が通常神奈川方式といわれるシステムですが、当試験場では、さらに貯留と濾過槽を設け、濾過により処理水中の窒素、リンについても除去試験ができるような施設となっています。

今年度からこの施設を利用し、畜舎污水の処理試験(窒素、リンの除去、活性汚泥の処理能力が低下する冬期の処理方法等)を行う計画です。この施設が県内畜産農家の尿処理を行う上で参考となれば幸いです。

(環境資源科長 佐々木秀夫)

図-1 全自動回分式活性汚泥法フローシート



平成7年度家畜共済事業実績について

NOSA I 宮城

平成7年度の家畜共済の引受並びに事故実績がまとまりましたのでお知らせいたします。

引受(表1)

頭数は合計で147,455頭となり、前年度より10,210頭減少しました。畜種別でみると、畜産農家の廃業、飼養頭数の減少等により特定肉用牛等で4,739頭、豚で7,204頭と大幅に減少したものの、乳牛、肥育牛等については組合等、家畜診療センターが一体となった推進を行った結果、合わせて1,749頭増加しました。

共済金額合計では276億6,957万円となり、前年度対比で11億9,577万円減少しました。

事故(表2)

死傷事故は事故防止に努めた効果もあり、乳牛を中心として事故が減少した結果、合計では6,199頭の発生にとどまり、前年度対比では1,320頭減少しました。

支払共済金では、9億7,053万円の支払いとなり、

前年度より、1億6,662万円減少しました。

病傷事故は乳牛、肥育牛で、若干増加しましたが、全体では72,838件発生、前年度対比では、2,044件減少、支払共済金でも402万円程減少し、8億3,882万円と前年を下回る支払いとなりました。

死傷事故の主要疾病発生状況は表3のとおりですが、例年、事故が多発している病名は多少順位が入れかわっているものの、ほぼ同じ病名が占めており、これらの事故対策が求められておりますが、NOSA I 宮城としては家畜事故対策協議会を中心に関係機関・団体等との連携により、各地の事故を未然に防止していくとともに、共済掛金を農家毎に過去の事故率に応じて設定する「危険段階別掛金」の導入や事故多発農家への共済金の「免責支払」の実施により、農家の事故防止に対する意識を改革し、事故を低減させていきたいと考えておりますので、関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

(家畜課長 菊地重夫)

表1 平成7年度家畜共済引受状況

畜種	項目		平成7年度			平成6年度			増			減			
	目標		実績			実績			実績			目標			
	頭数	共済金額	頭数	共済金額	平均共済金額	頭数	共済金額	平均共済金額	頭数	共済金額	平均共済金額	頭数	達成率	共済金額	達成率
乳牛の雌	頭	千円	頭	千円	千円	頭	千円	千円	頭	千円	千円	頭	%	千円	%
	28,000	5,031,660	28,276	4,896,686	173	26,810	4,812,171	179	1,466	84,515	-6	276	101.0	-134,974	97.3
肥育牛	31,670	7,625,160	30,487	7,089,224	233	30,204	7,205,974	239	283	-116,750	6	-1,183	96.3	-535,936	93.0
特定肉用牛等	90,000	16,606,892	85,140	15,496,943	182	89,879	16,533,231	184	-4,739	-1,036,288	-2	-4,860	94.6	-1,109,949	93.3
胎児	37,740		35,134	2,293,258	65	36,942	2,438,070	66	-1,808	-144,812	-1	-2,606	93.1	-	-
一般馬	120	66,826	102	61,340	601	118	66,826	566	-16	-5,486	35	-18	85.0	-5,486	91.8
大家畜計	149,790	29,330,538	144,005	27,544,193	191	147,011	28,618,202	195	-3,006	-1,074,009	-4	-5,785	96.1	-1,786,345	93.9
種豚	2,420	140,740	1,723	97,742	57	2,162	125,178	58	-439	-27,436	-1	-697	71.2	-42,998	69.4
肉豚	8,940	128,722	1,727	27,632	16	8,492	121,762	14	-6,765	-94,130	2	-7,213	19.3	-101,090	21.5
中家畜計	11,360	269,462	3,450	125,374	36	10,654	246,940	23	-7,204	-121,566	13	-7,910	30.4	-144,088	46.5
合計	161,150	29,600,000	147,455	27,669,567	188	157,665	28,865,142	183	-10,210	-1,195,575	5	-13,695	91.5	-1,930,433	93.5

* 特定肉用牛等は、肉用種雄牛を含む

表2 平成7年度家畜共済事故実績表

畜種	年度	死 産 事 故				病 傷 事 故			
		頭 数	共 済 金	保 険 金	1頭当り共済金	件 数	共 済 金	保 険 金	1件当り共済金
乳牛の雌	7	2,452頭	448,683,989円	403,814,813円	182,987円	24,094頭	350,313,943円	126,231,000円	14,539円
	6	2,801	527,762,738	474,985,441	188,419	23,530	334,670,690	119,989,217	14,223
	7/6	87.5%	85.0%	85.0%	97.1%	102.4%	104.7%	105.2%	102.2%
肥育牛	7	1,168	232,589,557	209,330,268	199,135	11,564	120,387,870	44,784,101	10,411
	6	1,295	258,823,783	232,941,050	199,864	11,107	112,836,018	41,909,323	10,159
	7/6	90.2%	89.9%	89.9%	99.6%	104.1%	106.7%	106.9%	102.5%
特定肉用牛等胎児・出生子以外	7	697	177,082,083	159,373,729	254,063	23,858	212,937,330	70,311,989	8,925
	6	827	212,502,255	191,251,858	256,956	24,706	215,654,988	70,839,648	8,729
	7/6	84.3%	83.3%	83.3%	98.9%	96.6%	98.7%	99.3%	102.2%
特定肉用牛等胎児・出生子	7	1,475	94,786,322	85,307,639	64,262	12,785	151,470,346	44,101,642	11,848
	6	1,616	107,763,718	96,987,273	66,685	14,885	175,230,108	50,995,882	11,772
	7/6	91.3%	88.0%	88.0%	96.4%	85.9%	86.4%	86.5%	100.6%
一般馬	7	5	2,959,870	2,663,882	591,974	70	738,410	232,163	10,549
	6	8	3,854,357	3,468,919	481,795	80	713,210	220,406	8,915
	7/6	62.5%	76.8%	76.8%	122.9%	87.5%	103.5%	105.3%	118.3%
種 豚	7	217	11,565,904	10,409,249	53,299	467	2,973,310	867,151	6,367
	6	280	16,366,243	14,729,554	58,451	574	3,735,640	1,104,454	6,508
	7/6	77.5%	70.7%	70.7%	91.2%	81.4%	79.6%	78.5%	97.8%
肉 豚	7	185	2,858,000	2,572,200	15,449				
	6	692	10,072,000	9,064,800	14,555				
	7/6	26.7%	28.4%	28.4%	106.1%				
合 計	7	6,199	970,525,725	873,471,780	156,562	72,838	838,821,209	286,528,046	11,516
	6	7,519	1,137,145,094	1,023,428,895	151,236	74,882	842,840,654	285,058,930	11,256
	7/6	82.4%	85.3%	85.3%	103.5%	97.3%	99.5%	100.5%	102.3%

表3 平成7年度家畜共済死産事故主要疾病発生状況 (3月末)

単位(頭数:頭, 割合%)

乳牛の雌			肥育牛			特定肉用牛等			種 豚						
順位	病 名	頭数	伸び率割合	順位	病 名	頭数	伸び率割合	順位	病 名	頭数	伸び率割合	順位	病 名	頭数	伸び率割合
1	関節炎	418	81.0 17.0	1	肺炎	162	100.6 13.9	1	胎児死	537	91.3 24.7	1	心臓衰弱	53	84.1 24.4
2	乳房炎	335	92.3 13.7	2	鼓張症	151	89.9 12.9	2	心臓衰弱	338	93.6 15.6	2	腰 萎	36	59.0 16.6
3	第四胃変位	291	95.1 11.9	3	腸間膜脂肪壊死	138	82.6 11.8	3	新生児死	313	86.5 14.4	3	関節炎	29	85.3 13.4
4	産前・産後起立不能症	287	99.0 11.7	4	心臓衰弱	114	83.2 9.8	4	胃腸炎・胃腸カタル	192	103.8 8.8	4	子宮脱・陰脱	20	142.9 9.2
5	骨折・脱臼	186	81.9 7.6	5	第四胃変位	86	114.7 7.4	5	腸間膜脂肪壊死	143	92.3 6.6	5	骨折・脱臼	16	64.0 7.4
6	腰 萎	155	96.9 6.3	6	尿石症	55	110.0 4.7	6	肺 炎	102	77.3 4.7	6	直腸脱	11	84.6 5.1
7	心臓衰弱	130	81.8 5.3	7	腰 萎	55	98.2 4.7	7	白 痢	81	81.8 3.7	7	肺 炎	9	150.0 4.1
8	敗血症	79	109.7 3.2	8	骨折・脱臼	52	64.2 4.5	8	鼓張症	64	81.0 2.9	8	敗血症	7	175.0 3.2
9	鼓張症	55	100.0 2.2	9	前胃弛緩症	52	74.3 4.5	9	骨折・脱臼	55	91.7 2.5	9	難 産	7	70.0 3.2
10	肝 炎	54	138.5 2.2	10	胃腸炎・胃腸カタル	46	127.8 3.9	10	腰 萎	49	73.1 2.3	10	産褥熱	5	83.3 2.3
	その他	462	75.2 18.8		その他	257	87.4 22.0		その他	298	83.9 13.7		その他	24	54.5 11.1
	計	2,452	87.5 100.0		計	1,168	90.2 100.0		計	2,172	88.9 100.0		計	217	77.5 100.0

来客 接待に牛乳を!!

県産牛乳の需要拡大を図る為、各団体並びに生産者団体におかれましては、会議、来客等に、従来のお茶に変わり牛乳をご利用下さるようお願い申し上げます。

宮城県牛乳普及協会

仙台市青葉区錦町一丁目6番5号 ☎022(263)7688



動物用薬品器材のことなら

タックにご用命下さい。

株式会社 タ ッ ク

本社 〒980 仙台市青葉区上杉三丁目3番8号
 電話 022-225-7338(代)
 仙台(営) 〒987 遠田郡小牛田町関根字館野28番
 電話 0229-34-2018(代)
 福島(営) 〒960 福島市矢矧町22番5号
 電話 0245-36-2815(代)
 須賀川(営) 〒962 須賀川市却町3番
 電話 0248-76-5177(代)

肉牛出荷、素牛移動ストレス対策の栄養管理に!!

ルピックス
牛用混合飼料

S

アミノ酸、ビタミン、ミネラル強化混合飼料

農 協 | 全 農 | 経 済 連

第7回全国和牛能力共進会の開催について

全国和牛登録協会宮城県支部

今回の全共は「育種価とファイトで伸ばす和牛生産」のテーマを掲げ、当面の改良課題である産肉能力を「育種価」で条件づけることによって、産肉能力が保証されたなかから選抜された出品牛で競われる従来の共進会とは異なる画期的な共進会となります。

また、和牛の経済能力は大きくわけて種牛能力と産肉能力とがありますが、今回はこの両方の能力が確認できるようにするため連動する出品区（7区と10区）を設定し、今後の和牛のあり方を実物をもって展示します。

牛肉輸入自由化の状況で、諸外国が和牛の脂肪交雜の優秀さに目をつけて、どうかして和牛を手に入れようとする動きがつついています。この改良戦争に打ち勝つために能力の高い和牛は、地域の改良素材として保留・活用する体制作りが急務であり今回の全共開催が改良体制整備の起爆剤となる狙いがあります。

以上のとおり、本共進会は国際競争下で、和牛改良の進路を実物をもって展示するとともに、改良体制の強化を狙った意欲的な共進会です。

開催時期並びに会場は下記のとおりです。

尚、本県の出品牛の選定及びそれに関連する予定については下記のとおりになっております。その他詳しいことについては経済連家畜市場課及び最寄りの畜産事業所にお問い合わせ下さい。

◎開催期日 平成9年1月30日～9月15日

◎最終比較審査（期日）平成9年9月11日～9月15日

◎最終比較審査（会場）岩手県

◎本県における今後の予定

- 1 出品候補牛の選定 第6・7・10区 平成8年8月
第5区 平成8年8月～9月 第10区 平成8年8月
第4区 平成8年11月 第8・9区 平成8年11月
- 2 「育種価」条件のための成績評価対象とする枝肉成績の提出期限 平成8年11月30日
- 3 予備申込み期限 平成8年11月中旬
- 4 第1回立会調査会 平成9年5月上旬
- 5 宮城県最終選考会 平成9年7月上旬

(安部俊也)

国内・外の先進地で肉用牛生産技術を身に付けよう

- 1 肉用牛の生産を行っている人、これから行う人（後継者等）、及び農協等において肉用牛生産の技術指導を行う人が、先進的な肉用牛経営を行っている農家や牧場等で滞在研修するとき、その経費を助成します。
- 2 研修の期間は、国内研修 10日以上1年未満。海外研修 1ヶ月以上1年未満。
- 3 次の経費について助成します。

海外の牧場等で研修される場合

- ①旅費（航空賃、旅行中の日当、宿泊費）の全額 ②現地滞在費（滞在日数×日額）の全額
- ③滞在している農家等に視察指導をお願いするときの視察指導旅費
- ④視察指導してくれる方の日当

国内の先進農家、牧場等で研修される場合

- ①旅費（鉄道運賃等、旅行中の日当、宿泊費）の1/2 ②現地滞在費（滞在日数×日額）の1/2
- ③視察指導旅費（海外研修の③と同じ） ④視察指導日当（海外研修の④と同じ）

- 4 くわしくは、宮城県肉用牛協会へ

【TEL 022-264-8626】 【FAX 022-216-1406】

〒980 仙台市青葉区上杉1丁目2-16（宮城県畜産会内）

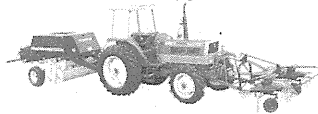
正統の育ちと味



仙台牛銘柄推進協議会

仙台市青葉区上杉1-2-16宮城県経済連食肉販売課内 TEL 022(264)8449-50

WORLD トラクター



株式会社 五十嵐商会
仙台市若林区卸町五丁目1番地4
電話(022)236-2525(代表)



クスリの総合卸

株式会社 エーシン

取締役会長 山田 修 造
取締役社長 竹下 正 則

本 社 〒980 仙台市青葉区木町通一丁目5-20 ☎022(267)7211
事業本部 〒984 仙台市若林区卸町二丁目10-3 ☎022(284)8111
古川営業所 〒989-61 古川市福浦字道の137-1 ☎0229(24)1211

全酪連問題と今後の対応について

宮城県生乳販売農業協同組合連合会

今回発生した全酪連の不正表示違反の問題は、酪農乳業関係者にかつてない程の大きな衝撃を与えました。

長岡工場に続いての宮城工場の不正表示問題の発覚は言葉で言い表せない出来事であり、今後の取引を考えた場合、どのように生乳を処理すればいいか大変な問題でした。

当時の全酪宮城工場の取引日量は約90t位で翌日から各乳業メーカーの協力を得ながら出荷先の変更作業に入りました。

3月末は通常でも学乳が休みで加工工場が満杯の時期でしたが、緊急時の対策ということで各社がそろって協力を申し入れていただいた為に止むなきを得ました。

以下事件発生時からの経過と今後の対応について述べさせていただきます。

まず最初に全酪宮城工場への搬入乳量の処理ですが、日量90tベースの乳量の売り先を失った為、別工場である北福岡工場への出荷先変更を行ったものの、全国的に全酪牛乳の販売量が落ち込んだ為に、北福岡工場も満杯となり緊急手段として雪印花巻工場、全農筑波乳業等他のメーカーの協力を得、飲用取引を優先しながら全量を販売いたしました。

次に継続的な取引の為に他社への増量要請を行ないました。

このことでは、農水省並びに宮城県等行政機関の口添えもあり、全酪連宮城工場の営業禁止処分による量販店等での全酪牛乳の他社牛乳の変更に伴ない該当メーカーに対し飲用向取引生乳の増量要請を行っております。又、それに伴ない8月現在では従来の全酪宮城工場取引数量の約70%相当を他社の協力により増量販売を行なうことが出来ました。

今回の全酪の事件で一番問題になったことは、いろんな所から数多くの情報が飛び交ったことです。

それぞれの立場で様々な人が情報紙等に情報を流した為にその都度混乱を来たしてしまい、事件の進捗状況や、生乳の処理状況を適切に皆さんにお伝え出来なかったことをお詫び申し上げます。

生産者並びに関係者の皆さんに是非ご理解いただきたいことは、全酪の組織問題の前に、販売不可能の回避が最も重要な問題であり、この問題は一個人

一組合で解決出来る問題ではありません。

長い間の取引による乳業メーカーとの信頼関係が、宮城の生乳を無事販売出来た一番の理由と思います。15,000tという乳量は宮城の生産量の8%以上でありメーカーの協力なしでは決して処理しきれない乳量であります。

そして、そのことを一番理解して欲しいのは全酪に対してです。

確かに全酪の組織は私達生産者にとっては非常に大事であり欠くことが出来ない団体であります。

しかし全酪が自分の組織を継続させたいと思う以前になぜ宮城の生産者に対し15,000tもの乳量を削減したことを、心から全職員が陳謝をする気がないのか、なぜ他社メーカーが全酪の変わりに宮城の生産者の為に働いたことに対し感謝の意を表せないのか非常に残念であります。

これから不需要期に入り計画生産の抑制対策も進むと思いますが、このまま全酪の削減乳量が販売不可能とならないよう職員一丸となって最善の努力をするとともに、メーカーに対しても継続した増量取引をお願いしていきますので今後ともよろしくご理解ご協力をお願い申し上げます。

(販売課長 武田良介)



畜産の健康と未来に貢献する
 獣医用薬品・畜産用医薬品・ワクチン・器具機材

小田島商事株式会社

本社 岩手県花巻市卸町66番地
 TEL 0198 264151(代)

古川営業所 古川市清水字周防10-1
 TEL 0229-26-4567

花巻営業所 横手営業所 酒田営業所 帯広営業所
 盛岡営業所 青森営業所 福島営業所 家畜衛生食品
 大船渡営業所 八戸営業所 旭川営業所 検査センター
 大館営業所 山形営業所 札幌営業所

畜産振興の明日を
 担う地方競馬

地方競馬全国協会

STAR STAR-農業機械

マニュアルフレックサ

倍角ステアリングで
 ラクラク作業

TBM1550+A DW1800
(倍角ステアリングボディ) (ディスクブレーキ)

STAR-農機株式会社 仙台営業所
 〒985 多賀城市町前2丁目87 TEL 022-367-4573

平成8年度宮城県総合畜産共進会 開催のお知らせ

宮城県畜産会

平成8年度宮城県総合畜産共進会は、下記日程で開催されることになりましたので多数ご参観くださいますようお願い申し上げます。

1. 肉豚の部

開催日 平成8年9月11日(水)~13日(金)
場所 宮城県食肉流通公社(米山町)

2. 乳用牛・肉用牛

開催日 平成8年9月20日(金)~21日(土)
場所 小牛田家畜市場

3. 出品頭数

- ・肉豚の部 150セット(同腹去勢2頭, 雌1頭計3頭を1セット)
- ・乳用牛の部 60頭
- ・肉用牛の部 73頭, 16組(60頭)計133頭

4. 付帯行事

県学校農業クラブ連盟家畜審査競技会
和牛婦人部審査コンクール
ジャッチングコンテスト
高級仙台牛展示即売会・焼肉コーナー
牛乳・乳製品展示即売
ミヤギノポーク展示即売
地場産品展示即売
家畜改良・家畜衛生相談

(事務局次長 佐藤勝也)



実践大学校生OBの抱負



宮城県農業実践大学校畜産学部
平成8年3月卒業
岩出山在住

(有)大進畜産社員 小野和宏

私は、今年3月農業実践大学校畜産学部を卒業して、4月から築館町に本社がある畜産を営む企業(大進畜産)の花山村にある牧場に勤務しています。私自身は農家の長男であり、農業後継者といわれる立場ですが、父親もまだ十分に働けるし、畜産情勢も含め私ที่บ้านに帰ってもその分すぐに規模拡大が出来る環境でもないで、地域に職を求めました。

当場は酪農が中心であり、私の担当している仕事は搾乳です。我が家では和牛の繁殖を営んでおり、正直のところ当初は乳牛の管理に対しては抵抗がありました。農業実践大学校在学中に学んだことや取得した家畜人工授精師、削蹄師の技術を向上させるには、色々な分野を経験してみなければ解らないこともあると思います、勉強のつもりで頑張っています。

また、将来、我が家でも繁殖だけではなく肥育まで含めた一貫経営を行いたいと考えていますので、ここで身につけた技術を我が家でも有効に活用したいと考えています。

当花山牧場は飼養頭数が180頭前後です。仕事はかなりきついのですが、先輩たちの指導のおかげで、入社したときよりはだいぶ慣れてきました。牛は1頭1頭個体差があるので、それを読み取り個体にあった飼養管理方法を見つけだせば、成績も上がり私の勉強にもなると思います。

これからも一生懸命頑張り、農業実践大学校で学んだことを基本として、それを十分生かせる様にしたいと思います。

●特徴 飼料の食い込み、飼料の消化吸収
糞の正常化と悪臭防止など。
35年間の販売と実績を誇る安全：天然野性酵母



〒980 仙台市青葉区上杉一丁目16番3号
株式会社セイワ東北営業所
TEL (022) 215-3112
FAX (022) 213-7190



ともに前進 技術のオリオン
酪農家の

声を反映した製品づくりと安心の
おけるアフターサービスは
オリオングループの誇りです。



東北オリオン株式会社

本社 〒983 仙台市若林区鶴代町1番68号 (022) 284-0691
宮城営業所 吉川町新田字泉屋敷59-1
989-61 TEL (0229) 26-4330



動物用医薬品

セレン配合
総合ミネラル固型塩

錠塩セレン

日本全薬工業株式会社

<畜試便り>

ミヤギノを利用した系統間交雑肉豚の高品質豚肉生産に関する試験

宮城県畜産試験場

ミヤギノポークは現在県内で約6万頭生産されています。試験場ではミヤギノポークについてより高品質な豚肉を生産する技術を引き続き検討しています。今回は、(1)肥育期間の延長や(2)ロースの部位の違い、さらに、(3)肉の冷蔵保存時間が肉質に及ぼす影響を検討した結果を紹介します。

材料は試験場で生産したミヤギノポーク(LWD)で二腹から去勢9頭、雌9頭の計18頭を供試しました。豚は全て単飼で飼育し、週一度体重を測定しました。不断給仕餌区を対照区とし、体重に基づき不断給仕餌区の飼料摂取量の80%および60%を給与する区をそれぞれ設けました。三つの区にそれぞれ去勢、雌を3頭ずつ配置しました。体重が105kgに到達後、24時間絶食しと殺しました。枝肉を24時間4℃で放冷後枝肉重量、皮下脂肪厚などの枝肉形質と肉色を測定しました。さらに、肉質形質を測定するためのロース肉サンプルを採材しました。採材部位は①第6～7胸椎、②最後胸椎から二胸椎部分、③最後胸椎部位から2～3胸椎前の胸椎部分、④第4～5腰椎部分です。

それぞれの部位は以下の比較に用いました。

- (1) 肥育期間の延長の影響：②
- (2) ロースの部位の違いの影響：①、②および④
- (3) 肉の冷蔵保存時間の影響：②と③

ただし、①および④のサンプルは18頭のうち、ラン

ダムに7頭を選びました。また、冷蔵保存時間の影響に用いた③の部分の肉はビニール袋に入れて4℃で5日間(と殺後6日間)保存後、肉質を分析しました。肥育期間の延長の効果をみるため測定した肉質形質はpH、肉色、保水性(ドリップロス、加熱損失率)、テンシプレッサーで測定した物理的特性：テンダーネス(柔らかさ)とプライアビリティ(柔軟性)、化学成分としての筋肉内脂肪、水分含量です。また、ロース部位の違いの効果については加熱損失率と物理的特性、冷蔵保存時間の影響には加熱損失率と物理的特性、化学成分を測定しました。

表1には三つの区の肉質の平均値を示しました。日齢が約30日ずつ異なりますが、日齢に応じてテンダーネスの値が大きくなり硬さが増すことが明らかとなりました。また、飼料の制限により制限区では筋肉内脂肪が減少しました。表2には異なるロース部位とと殺後の冷蔵保存の影響を示しました。冷蔵保存することで明らかに柔らかさが増しますが、加熱損失率が高まり水分のロスが多くなることが示されました。さらに、ロースの部位により柔らかさや柔軟性が異なることも明らかになりました。以上、今回得られた基礎的な情報をもとに、より高品質なミヤギノポークを生産する技術の確立を目指そうと考えております。

(種豚家禽部原種豚科科长 鈴木啓一)

表-1 肉質に及ぼすと殺日齢

		対照区	80%制限区	60%制限区
頭数		6	6	6
と殺日齢	日	176 ^a	205 ^b	234 ^c
肉色(PCS)		3.3	3.1	3.2
pH		6.0	6.1	6.1
水分損失率	%	6.4	5.1	4.2
加熱損失率	%	22.7	22.1	20.1
筋肉内脂肪割合	%	2.82 ^a	2.00 ^b	2.02 ^c
TENDERNESS	kgw/cm ²	85.5 ^a	92.4 ^{a,b}	101.6 ^b
PLIABILITY		1.60	1.64	1.62


同じ行の異符号間に5%水準で有意差あり。

表-2 肉質に及ぼすロース部位と冷蔵保存期間

		と 殺 後			ロ ー ス 部 位		
		1 日	6 日	6-7 胸椎	最後胸椎	4-5 胸椎	
加熱損失率	%	21.6 ^a	26.7 ^b	20.9	21.8	19.6	
筋肉内脂肪割合	%	2.28	2.30	—	—	—	
TENDERNESS	kgw/cm ²	93.1 ^a	84.1 ^b	71.9 ^c	89.5 ^d	84.6 ^{c,d}	
PLIABILITY		1.62 ^a	1.52 ^b	1.52 ^c	1.61 ^d	1.54 ^{c,d}	

同じ行の異符号間に5%水準で有意差あり。

TCM東洋アキアットローダ



糞尿処理工程のあらゆる局面で活躍。
畜産農家の近代化に
作業の省力化に大きく貢献します。
豊富なアタッチメント。

TCM東洋運搬機株式会社
東北ティールシーエム株式会社
983 仙台市宮城野区中野字茶畑135-1
電話 022-259-6351

KOMATSU

カンタン操作で、
飼料も堆肥もラクラク作業



コマツ宮城株式会社
仙台市宮城野区扇町二丁目1の30
電話(022)(237)7441番代

動物用
医薬品 (牛専用)

トルラミックS
特殊酵母+必須ビタミン+ミネラル配合

株式会社 トーシン

古川市古川字上古屋敷9番地の1
TEL 0229 (24) 3 2 1 1 (代)

<衛生便り>

嫌気性菌とは

仙台家畜保健衛生所

嫌気性菌とは、酸素の存在下での培養では、発育を開始できない細菌です。この菌は、人および動物の消化管等に正常細菌叢を構成しているものと土壌等に存在するものがあります。人の大便1gに2,000億から4,000億個も存在しており、大便の20~30%は生きた細菌の塊であり、その殆どが嫌気性菌です。生後まもな子の便は殆ど無臭ですが、日数を経るにつれ便特有の臭いがしてくるのは、口を介し嫌気性菌等が入り込み、悪臭のあるガスを産生するためです。また、家畜の糞尿で堆肥を作る際も切り返しを行わないと、嫌気性菌が増殖し、その結果、悪臭を放ち腐敗し思ったような堆肥はできません。

しかしながら、これらの嫌気性菌は栄養、薬効あるいは生理機能、発癌、老化、免疫、発癌物質の解毒、感染と極めて多岐に亘って動物と関係を持ち、生体防御機構と疾病を引き起こすという相反した二面性があります。

家畜に対し害を及ぼす嫌気性菌の感染症に気腫疽、悪性水腫、破傷風およびボツリヌス症等があります。気腫疽と悪性水腫は前日まで無症状であったものが、翌日に突然発熱、反芻停止し死亡したりします。破傷風は馬を急死させ、ボツリヌス症は最近北海道の一酪農家でサイレージが原因と思われる症例が発生し、殆どの牛が死亡しました。

このように、嫌気性菌には突然家畜の生命を奪ってしまう恐ろしいものもあります。この内、気腫疽、悪性水腫、破傷風については、既にワクチン投与による予防対策が講じられていますので、この機会に是非、心がけていただきたいと思ひます。

(病性鑑定課 大久範幸)

<抱負>

『宮城県に来て』

仙台家畜保健衛生所 内方英里帆

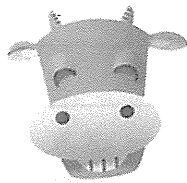


初めまして、今年度より新採用となりました、内方と申します。私は大阪に生まれ大阪に育ちました。ですから宮城に県職員として勤務することになってから先生や友人、新しく出会った方に、「何故遠く大阪からわざわざ宮城に?」とか「宮城に

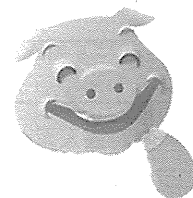
結婚を約束した人でもいるの?」などとよく聞かれます。残念ながら結婚の予定は全くございません。宮城県には以前、弟が住んでいたことから関わりあり、今では私の骨をうづめる場所と考えるようになりました。

大学は北海道の帯広畜産大学でして、獣医臨床放射線学教室に所属していました。そこでは主に牛や犬の画像診断を学んで参りました。これは今現在の職務に直接関係がないようにも思いますが、人からはどう見えるかはさておき、細かい点で大学時代に学んできたことは役立っていると感じます。私だからこう考えると、私はこうしたらいいと思うなどといったことも、薄っぺらくもありませんが私なりの基盤から生まれてくればよいと考えています。ですから大学で学んだことをしっかり抱えて、そして先輩上司の方々から新しい知識や考え方、技術を得ていきたいと思ひます。その中で自分の間違いに気が付いたときは素直に認め、一刻も早く正しいことを身につけることが大切...と、毎日自分の間違いを知り、悔しくも悲しくもありますが、やがて少しでも成長している自分に気が付くような日がやって来るように頑張っていきたいです。

宮城に来てまだ3ヶ月少々ではありますが、ここに来てよかったと思ひています。もうすでにお世話になりましたの方々、これからお会いするの方々、内方英里帆をよろしくお願ひ致します。



毎月29日は肉の日です



お肉は、私たちの体の血となり肉となる、たいせつなタンパク源。ビタミン、ミネラルも豊富な、たいへん優れた食品です。

宮城県食肉消費対策協議会

〒980 仙台市青葉区上杉1丁目2-16(社団法人・宮城県畜産会内)

電話 022-262-9180